

# 令和8年度入学試験問題

## 小論文（医学部保健学科） 854

（後期日程）

---

### 出題意図

#### 【全体のねらい】

本設問は、がん検診データをもとに、受診歴とがん発見率の関係を科学的に考察する力を評価することを目的とする。「初回受診者で発見率が高い」という傾向の背景を疫学的に説明し、継続受診の意義や検診制度の課題を多面的に捉えられるかを問う。また、がん種による発生時期の違い（例：子宮頸がんは若年層、乳がんは中高年層）にも着目し、検診開始年齢や受診継続の重要性を理解できているかを確認する。

#### 【問1の出題意図】

目的：図から初回・非初回受診者間のがん発見率の違いを正確に読み取り、その理由を説明させる。

評価点：図表の傾向を正確に記述できているか。発見率の差を疫学的・臨床的に解釈できているか。子宮頸がん・乳がんなど、がん種ごとの年齢差を踏まえた理解があるか。

#### 【問2の出題意図】

目的：結果を踏まえ、継続受診の意義と受診率向上のための対策を述べさせる。

評価点：継続的受診の必要性を論理的に説明できているか。行政・医療機関・個人それぞれの取り組みを具体的に提案できているか。若年層・中高年層それぞれに応じた啓発や支援策を挙げられているか。